



木曽林務課だより

7月号

梅雨後半になると大雨による災害の記憶が思い出されることもあるかと思いますが、そうした災害等への対応に向けた新たな取り組みについて紹介します。

ドローン調査始めました！



○ドローンとは？

皆さんもテレビ・インターネット・新聞等で一度は見たり、聞いたことのある言葉“ドローン”。一言で言えば「無人航空機」、易しく言えば「人が乗って操縦しない空を飛べる機体」と言えます。当課においても、本年度より1台配備されました！

活用事例1 災害現場の調査

ドローンの活用により、災害現場の危険箇所や地上からの不可視部分を、安全かつ明瞭に撮影することが可能になりました。



地上では手前の立木などで見えない崩壊地



上空からの明瞭な崩壊地（ドローン撮影）

活用事例2 御嶽山の登山道調査

まもなく、噴火から5年を迎える御嶽山の登山道（頂上付近）の規制緩和に向け、令和元年6月24日（月）に当課を含む関係機関により、安全確認を実施しました。この過酷な山頂付近の危険な調査においても、ドローンは大いに活躍しました。



ドローンによる調査状況

今後も、ドローンの活用に期待です！！

©長野県木曽地域振興局林務課 令和元年7月20日発行